|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 令和2年６月２9日７月号ＮＯ.4**春木小学校園だより** |

**７月の予定**



★４年生５年生６年生　７時間授業　　☆４年生５年生６年生　６時間授業

暑くなってきました。マスク着用などもあります。

例年以上に「お茶」を持たせてください。

別紙でもお伝えしましたが、以下の通り実施してまいります。

　　実施期間　　令和２年７月６日(月)～令和２年８月３日(月)

実施内容　　・【４５６年生】月曜日、火曜日、木曜日の６時間目終了後、

１５分の７時間目を設定【下校時間　１５時5０分ごろ】

・【４５６年生】水曜日の６時間目の実施

【下校時間　１５時10分ごろ】

・【全学年】始業式、終業式は４５分授業×３時間＋式

【下校時間　12時ごろ】

　　　　　　　　　　　　・【全学年】懇談会(8月４日(火)５日(水))４０分授業×４時間

【下校時間　12時４５分ごろ】

７月３日は、１４８回目の創立記念日です。通常授業です。

【校長室から】　　　　　手紙

　学校の様々な対応にご理解ご協力いただいています。本当に感謝申し上げます。

その様々な対応をしていくなかで、メ－ルというツ－ルを何度も活用させていただきました。緊急事案をお知らせするには、画期的な便利さで２１世紀のすごさを感じました。

　ところが、そんな混乱の中、蟄居生活が続いていたので、することもなくぼんやり過ごすものいかがなものかと、部屋の大掃除をはじめたのです。

　母親宅に昔使っていて今は物置と化している部屋の整理にかかったのです。転勤のときにまとめたままのダンボ－ルが出てきたり、なぜか学生時代の成績書が出てきたり、なかなか掃除は進みません。ある箱を開けると、卒業生がその卒業式の時にくれた手紙や写真があふれ出てきて、そこに映る私の若いこと。

　年賀状の束も出てきてびっくり。

　そのなかに、ある手紙を見つけたのでした。

　手紙の恐ろしいのは、「肉筆」であること。文字の形でその人が思い出されたり、手紙をもらったその瞬間に時間が飛びます。

　「懐かしい」の連続で結局、物置は箱の位置が変わっただけの物置のまま。

　メールの便利さと手紙の肉筆の迫力に圧倒された時間でした。